

No.01

部課室	建設部 維持課	事業名	道路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路及び道路施設を良好な状態に保つように管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
194,076 千円	194,076 千円	0 千円	194,076 千円	0 千円	
K P I	受益者など (見込)	一宮市2025. 10. 1現在人口 : 375,005人		対象1人あたり	517 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.02

部課室	建設部 維持課	事業名	道路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路及び道路施設を良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
757,055 千円	741,068 千円	△15,987 千円	741,068 千円	0 千円	
K P I	受益者など (見込)	一宮市2025. 10. 1現在人口 : 375,005人		対象1人あたり	1,976 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、施設修繕料を見直して一部減額した。				

No.03

部課室	建設部 道水路管理課	事業名	道水路占用システム保守事業	事業区分	その他事業
事業概要	道水路上の電柱や電気・電話・ガス・上下水道の管路等の一定の施設の設置にあたり、道水路管理者として占用許可を出す。占用管理システムを通じて、これらの占用許可の情報を整理し、円滑な占用業務を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
1,418 千円	1,418 千円	0 千円	1,418 千円	0 千円	
K P I	受益者など (見込)	占用許可・承認工事件数 : 4,158件		対象1件あたり	341 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.04

部課室	建設部 道水路管理課	事業名	道路管理システム保守事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路幅員等の照会に対して、道路に関する複数の情報を管理するシステムを使用し、迅速かつ円滑な業務処理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	11				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
2,019 千円	2,019 千円	0 千円	2,019 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	道路管理情報利用者数 : 14,036人	対象1人あたり	143 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.05

部課室	建設部 道水路管理課	事業名	道路台帳補正事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路整備工事等により道路形状は変化している。毎年その状況を調査し、道路台帳図及び調書等を修正して道路の適正な管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	11				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
36,446 千円	36,446 千円	0 千円	36,446 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	道路台帳年間照会者数 : 12,250人	対象1人あたり	2,975 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.06

部課室	建設部 道水路管理課	事業名	狭あい道路対策事業	事業区分	その他事業
事業概要	狭あい道路(一般の通行に使用されている幅員が4m未満の道路)の解消を促進し、防災機能や良好な居住環境の向上を図るため、防火・準防火地域内の狭あい道路に接する土地の所有者が道路後退用地等の寄附を行う場合、市が費用の一部について助成する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	11				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
771 千円	771 千円	0 千円	771 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	防火・準防火地域がある連区人口 : 130,836人	対象1人あたり	5.89 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.07

部課室	建設部 道路課	事業名	生活道路改良事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市民の日常生活に密着した道路(生活道路)について、道路構造物(側溝等)の改良を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			3	9	11
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
586,709 千円	594,709 千円	+8,000 千円		623,032 千円	+28,323 千円
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人		対象1人あたり	1,661 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、工事請負費を見直して一部増額した。				

No.08

部課室	建設部 道路課	事業名	日光川2号放水路関連公共補償事業	事業区分	投資的事業
事業概要	日光川2号放水路事業は、日光川の支川である野府川や新丹波川の洪水を木曾川へ排水する県の事業である。この事業の公共補償により市道の付け替えのための用地を取得する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
4,738 千円	4,738 千円	0 千円		4,738 千円	0 千円
KPI	受益者など(見込)	奥町連区・木曾川連区2025.10.1現在人口: 47,548人		対象1人あたり	99 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

部課室	建設部 道路課	事業名	踏切道改良事業	事業区分	投資的事業
事業概要	今伊勢町馬寄地内の名鉄石刀駅南踏切の東側に近接する市道において、歩行者の安全を確保するため、用地を取得し市道を拡幅する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
7,990 千円	7,990 千円	0 千円		7,990 千円	0 千円
KPI	受益者など(見込)	今伊勢町連区2025.10.1現在人口: 26,237人		対象1人あたり	304 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.10

部課室	建設部 道路課	事業名	名古屋江南線関連公共補償事業	事業区分	投資的事業
事業概要	千秋町地内において、県が都市計画道路名古屋江南線の4車線化事業を進めており、この事業の公共補償により市道の付替えを行うため、用地を取得する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
1,564 千円	1,564 千円	0 千円	1,564 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	千秋町連区2025.10.1現在人口:16,928人	対象1人あたり	92 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.11

部課室	建設部 道路課	事業名	一宮稲沢北IC関連公共補償事業	事業区分	投資的事業
事業概要	愛知県の一宮稲沢北インターチェンジの整備に伴い、西尾張中央道の通り抜けが出来なくなった市道の機能補償として、迂回路となる市道の拡幅を行うため、用地を取得する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
2,000 千円	2,000 千円	0 千円	2,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	大和町連区・萩原町連区2025.10.1現在人口:59,434人	対象1人あたり	33 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.12

部課室	建設部 道路課	事業名	幹線舗装改良事業	事業区分	投資的事業
事業概要	幹線道路延長282kmのうち、主に1級幹線163kmの舗装を対象に損傷程度を踏まえ、計画的に改良を行う。 2026年度は、点検、調査及び工事を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3	9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
232,600 千円	161,600 千円	△71,000 千円	161,600 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口:375,005人	対象1人あたり	430 円	
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.13

部課室	建設部 道路課	事業名	生活道路舗装改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市民の日常生活に密着した道路(生活道路)について、スマートフォンを用い、AIを活用した舗装診断を実施し、効率的な道路舗装の改良を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)	
417,057千円	425,057千円	+8,000千円		446,227千円	+21,170千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口:375,005人		対象1人あたり	1,189円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、工事請負費を見直して一部増額した。					

No.14

部課室	建設部 維持課	事業名	橋梁保全事業	事業区分	投資的事業
事業概要	老朽化が進む橋梁の長寿命化を図るために、補修及び耐震化を計画的に行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
126,500千円	83,300千円	△43,200千円		83,300千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	市内橋梁数:910橋		対象1橋あたり	91,538円
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額を精査した結果、工事対象の橋梁を見直して一部減額した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.15

部課室	建設部 維持課	事業名	横断歩道橋保全事業	事業区分	投資的事業
事業概要	老朽化が進む横断歩道橋の長寿命化を図るために、補修及び耐震化を計画的に行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
6,100千円	6,100千円	0千円		6,100千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	市内横断歩道橋数:9橋		対象1橋あたり	677,777円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.16

部課室	建設部 維持課	事業名	水路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	水路及び水路施設を良好な状態に保つように管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
193,121 千円	192,484 千円	△637 千円	192,484 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市2025.10.1現在人口 : 375,005人		対象1人あたり	513 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、光熱水費等の積算を見直して一部減額した。				

No.17

部課室	建設部 維持課	事業名	水路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	水路及び水路施設を良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
305,815 千円	286,472 千円	△19,343 千円	286,472 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市2025.10.1現在人口 : 375,005人		対象1人あたり	763 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、施設修繕料を見直して一部減額した。				

No.18

部課室	建設部 維持課	事業名	排水機場等施設整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市民の生命や財産を浸水被害から守る排水機場において、ポンプ等が故障停止となる重大事故を未然に防ぐため、施設の整備補修を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
51,799 千円	51,799 千円	0 千円	51,799 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	浅井町東浅井ほか受益地区 : 1,373ha		対象1haあたり	37,726 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.19

部課室	建設部 治水課	事業名	緊急農地防災事業(大赤見地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	大赤見地内を中心に流れる大赤見用水の流域にある21haの農地などを大雨の被害から守るため、水路の改修整備を実施する。2026年度は、ボックスカルバート工等をL=80m施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
86,050 千円	86,050 千円	0 千円	86,050 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	大雨の被害軽減を図る区域: 21ha		対象1haあたり	4,097,619 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.20

部課室	建設部 治水課	事業名	緊急農地防災事業(明地地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	明地地内において、農地などを大雨の被害から守るため、排水路の整備を実施する。2026年度は、ボックスカルバート工等をL=80m施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
109,050 千円	109,050 千円	0 千円	109,050 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	大雨の被害軽減を図る区域: 28ha		対象1haあたり	3,894,642 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.21

部課室	建設部 治水課	事業名	県営水質保全対策事業(新岩倉用水地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	木津用水土地改良区が管理する岩倉用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。2026年度は、一宮市及び大口町において管水路工 L=450mの更新を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
9,816 千円	3,681 千円	△6,135 千円	3,681 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	田んぼへの取水向上を図る区域: 198ha		対象1haあたり	18,590 円
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.22

部課室	建設部 治水課	事業名	県営水質保全対策事業(新光堂川地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	宮田用土土地改良区が管理する光堂川用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。2021年度から工事着手。2026年度は管水路工 L=660mを施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
15,758 千円	10,506 千円	△5,252 千円	10,506 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	田んぼへの取水向上を図る区域：163ha	対象1haあたり	64,453 円	
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.23

部課室	建設部 治水課	事業名	県営たん水防除事業(新大江地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	大江排水機場は、築造後34年経過し老朽化が著しく、また、経年劣化による能力低下なども見受けられ早急な対策が必要であるため、当流域のたん水被害対策として、排水機場を建て替えることにより、農業の安定化を図る。市は、県が実施する事業の費用の一部を負担する。2026年度は、機械設備、上屋建築、遊水池を施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
2,192 千円	652 千円	△1,540 千円	652 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	大雨の被害軽減を図る区域：180ha	対象1haあたり	3,622 円	
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.24

部課室	建設部 治水課	事業名	県営緊急農地防災事業(千間堀下流地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	千間堀川流域では、浸水被害が慢性的に発生している地域であるため、河川改修を行い、流下能力を向上させ、被害の軽減を図る。市は、県が実施する事業の費用の一部を負担する。2026年度は【一宮市管理区間】排水路工L=60mを施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
20,400 千円	20,400 千円	0 千円	20,400 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	大雨の被害軽減を図る区域：210ha	対象1haあたり	97,142 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.25

部課室	建設部 治水課	事業名	県営用排水施設整備事業(萩原東部地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	突発的・局地的豪雨時の流域被害軽減のため、光堂川から準用河川新堀川へのバイパス水路を整備する。市は、県が実施する事業の費用の一部を負担する。2026年度は、実施設計業務及び用地買収を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2			9	11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
10,500 千円	10,500 千円	0 千円	10,500 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	大雨の被害軽減を図る区域: 527ha		対象1haあたり	19,924 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.26

部課室	建設部 治水課	事業名	農業農村多面的機能支払事業補助事業	事業区分	投資的事業
事業概要	多面的機能支払交付金には、農地維持支払と資源向上支払があり、農地が持つ多面的な機能の維持のため地域の活動や営農する活動に対して補助をする。 (1) 農地維持支払…道路水路の草刈りや水路の泥上げ、営農活動に必要な体制を強化するための活動 (2) 資源向上支払…道路水路の軽微な補修や植栽による景観形成などの活動				
SDGs (持続可能な開発目標)	2			11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
10,957 千円	10,957 千円	0 千円	10,957 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	農用地: 276ha		対象1haあたり	39,699 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.27

部課室	建設部 治水課	事業名	濃尾用水地区用排水対策協議会負担事業	事業区分	投資的事業
事業概要	宮田用水土地改良区が管理する農業用の用排水路について、用排水分離後の排水路の管理に係る費用を関係市町が応分の負担をする。また、国営事業で整備した農業用施設を管理する宮田用水土地改良区の管理体制の強化などを支援する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2			11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
22,002 千円	22,002 千円	0 千円	22,002 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	排水流域面積: 2,171ha		対象1haあたり	10,134 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.28

部課室	建設部 治水課	事業名	木津用水水管理対策協議会負担金事業	事業区分	投資的事業
事業概要	国営事業で整備した農業用施設を管理する木津用水土地改良区の管理体制の強化などを支援する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2			11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
133 千円	133 千円	0 千円	133 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	対象となる田んぼの面積 (一宮市) : 126ha		対象1haあたり	1,055 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.29

部課室	建設部 治水課	事業名	土地改良事業負担金事業	事業区分	投資的事業
事業概要	岩倉用水(木津用水土地改良区管理)、丹羽用水(丹羽用水土地改良区管理)は、施設の漏水や不具合が毎年のように発生している。農業用水の安定供給や漏水に伴う陥没事故を防止するため管路等の整備を行う。各協定書に基づき、負担金を支払う。 2026年度は、岩倉用水においては、止水バンドの設置を行う。丹羽用水においては、2024年度に漏水対応した維持管理費を支払う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
551 千円	551 千円	0 千円	551 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	岩倉用水、丹羽用水の田んぼへの取水向上を図る区域 : 216ha		対象1haあたり	2,550 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.30

部課室	建設部 治水課	事業名	県営水質保全対策事業(千間堀用水地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	西成土地改良区が管理する千間堀川の排水路及び用水路について、愛知県が事業主体となり整備する。西成土地改良区に対して、営農の安定化を図るため事業費の一部を補助する。2026年度は用水路工L=750mを施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
30,000 千円	22,000 千円	△8,000 千円	22,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	西成土地改良区流域面積 : 508ha		対象1haあたり	43,307 円
査定結果の理由等	西成土地改良区への支援を拡大するにあたり、運営経費に関して改善を促し、節減が実現した経費相当額について西成土地改良区負担分として計上することで、補助額を一部減額した。				

No.31

部課室	建設部 治水課	事業名	土地改良事業補助事業	事業区分	投資的事業
事業概要	農業生産の基盤整備、農地の集団化及び農村の環境改善により農家の所得の増大、地位の向上を図るため、宮田用水土地改良区、丹羽用水土地改良区他の行う事業の実施に要する経費について、一部を補助する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
2,070 千円	2,070 千円	0 千円	2,070 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	宮田用水、木津用水の田んぼへの取水向上を図る区域：677ha	対象1haあたり	3,057 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.32

部課室	建設部 治水課	事業名	県営農業水利施設保全対策事業(下浅野地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	下浅野排水機場は、築造後約30年経過し老朽化が著しく、また、経年劣化による能力低下なども見受けられ早急な対策が必要であるため、排水機場の部分補修を行うことにより、施設の長寿命化を図る。市は、県が実施する事業の費用の一部を負担する。2026年度は、電気設備更新、除塵機・ゲート補修整備を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
9,500 千円	9,500 千円	0 千円	9,500 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	大雨の被害軽減を図る区域：173ha	対象1haあたり	54,913 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.33

部課室	建設部 治水課	事業名	かんがい排水事業	事業区分	投資的事業
事業概要	水路機能を向上させるため、用排水路の改修を行う。2026年度は、6地区施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
38,050 千円	38,050 千円	0 千円	38,050 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	水田への取水向上を図る区域：16ha	対象1haあたり	2,393,081 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.34

部課室	建設部 治水課	事業名	農村総合整備事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	水路機能の向上かつ道路有効幅員を拡大するため、用排水路の改修を行う。2026年度は、14地区施工する。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
148,050 千円	148,050 千円	0 千円		148,050 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	対象地区人口 : 8,186人			対象1人あたり	18,085 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.35

部課室	建設部 治水課	事業名	生活関連治水事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	水路の安定した機能を確保するため、用排水路及び付属構造物の改修を行う。また、道路冠水等の浸水被害の軽減を図るため、水路の整備を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
586,169 千円	594,169 千円	+8,000 千円		628,026 千円	+33,857 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口 : 375,005人			対象1人あたり	1,674 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、工事請負費を見直して一部増額した。					

No.36

部課室	建設部 治水課	事業名	土地改良施設維持管理適正化事業(防災減災機能等強化対策)	事業区分	投資的事業	
事業概要	千秋町浅野羽根地内を流れる千秋川に設置されている全3基の樋門を電動化する。2026年度は、そのうちの1基を電動化する。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
22,500 千円	22,500 千円	0 千円		22,500 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	対象地区人口 : 1,276人			対象1人あたり	17,633 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.37

部課室	建設部 治水課	事業名	河川等情報関連事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市内の河川水位、雨量、新たに追加した浸水センサ及びライブカメラの情報を公開するシステム「水防災情報システム(旧河川等水位情報)」を安定的に運用する。また、一級河川木曾川の水位や状況が把握できる「河川情報利用ネットワーク」を安定的に運用する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
14,877千円	14,877千円	0千円	14,877千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口:375,005人		対象1人あたり	39円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.38

部課室	建設部 治水課	事業名	流域貯留施設築造事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	新川流域において、河川への流出を抑えるため、公園のグラウンドを利用して一時的に雨水を貯留する施設を築造する。2026年度は引き続き、三ツ井公園の工事を継続し、新たに森本中央公園の工事に着手する。また、公園に加え代替施設を含めた整備優先度の再検討を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
948,880千円	283,900千円	△664,980千円	283,900千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	丹陽町連区 2025.10.1現在人口:28,409人		対象1人あたり	9,993円	
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。また、流域貯留施設再検討業務にあたっては、コストパフォーマンスなども踏まえ、あらゆる手法を検討するよう求めた。					

No.39

部課室	建設部 治水課	事業名	準用河川千間堀川河川改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	準用河川千間堀川流域では、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い被害の軽減を図る。2026年度は、外崎2号橋の架け替え工事に伴う建物等事後調査を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
2,500千円	2,500千円	0千円	2,500千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	丹陽町連区 2025.10.1現在人口:28,409人		対象1人あたり	88円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.40

部課室	建設部 治水課	事業名	準用河川川崎川河川改良事業	事業区分	投資的事業
事業概要	準用河川川崎川流域では、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い被害の軽減を図る。2026年度は、バイパス河川L=64mを施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
82,300 千円	82,300 千円	0 千円	82,300 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	奥町連区 2025.10.1現在人口:13,913人	対象1人あたり	5,915 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.41

部課室	建設部 治水課	事業名	浸水対策施設設置補助事業	事業区分	投資的事業
事業概要	浸水対策施設(浄化槽転用貯留槽、雨水タンク、浸透ます、透水性舗装、防水板)の設置に対し、費用の一部を補助する。雨水の河川への流れ込みを一時的に抑制し、出水被害を軽減する効果がある。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
2,340 千円	2,340 千円	0 千円	2,340 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	申請件数:44件	対象1件あたり	53,181 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.42

部課室	建設部 治水課	事業名	雨水ポンプ場修繕改築事業	事業区分	投資的事業
事業概要	老朽化した雨水ポンプ場の適切な修繕・改築更新を実施する。2026年度は、旧西萩原ポンプ場の修繕改築事業と分解整備及び小信ポンプ場の耐水化実施設計を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
164,400 千円	164,400 千円	0 千円	164,400 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	小信整備済排水区2025.10.1現在人口:2,363人	対象1人あたり	69,572 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.43

部課室	建設部 治水課	事業名	洪水ハザードマップ修正事業	事業区分	投資的事業
事業概要	2021年の水防法改正を受け、2025年3月に愛知県により日光川流域の浸水想定区域が指定されたため、一宮市洪水ハザードマップの修正及び増刷を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
4,429 千円	303 千円	△4,126 千円	303 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人		対象1人あたり	0.81 円
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.44

部課室	建設部 道路課	事業名	西御堂線歩道拡幅事業	事業区分	投資的事業
事業概要	都市計画道路西御堂線は、自動車や歩行者が多く、歩道が狭い上段差があることから危険な歩道となっている。歩行者が安全で快適に通行できる歩行空間を創出するため歩道を拡幅する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
22,000 千円	22,000 千円	0 千円	22,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	萩原町連区2025.10.1現在人口: 17,513人		対象1人あたり	1,256 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.45

部課室	建設部 道路課	事業名	緊急輸送道路無電柱化事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市道0138号線は、市役所本庁舎(防災拠点)と市民病院(災害拠点病院)を結ぶ第2次緊急輸送道路に指定されており、災害直後から、避難、救助活動、救援物資の輸送のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線である。災害時の緊急輸送道路の機能を確保するため、市道0138号線の無電柱化を推進する。2026年度は、本体工事(電線共同溝)を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
108,500 千円	0 千円	△108,500 千円	0 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	1年の自動車交通量(2021交通量調査): 2,578,725台		対象1台あたり	0.00 円
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に組み替えて計上】 要求額について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.46

部課室	建設部 道路課	事業名	ラウンドアバウト整備事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	西五城地内の交差点において、近年事故が発生しており、安全性の確保が急務となっているため、交通の円滑化と都市環境に配慮したラウンドアバウト(環状交差点)を整備する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
72,000 千円	72,000 千円	0 千円		72,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	1年の自動車交通量(2024交通量調査): 2,511,200台		対象1台あたり	28 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.47

部課室	建設部 道路課	事業名	岩倉街道線道路改築事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	都市計画道路岩倉街道線は、一宮駅東駅前広場から国道22号へ至る道路で、慢性的な渋滞が発生している浅野交差点西側において、右折帯を延伸整備することにより渋滞の緩和を図る。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
18,500 千円	7,180 千円	△11,320 千円		7,180 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人		対象1人あたり	19 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、施工内容を見直して用地測量業務委託料を減額した。また、工事の実施に際しては、歩行者の安全対策も万全に行うよう求めた。					

No.48

部課室	建設部 道路課	事業名	名岐道路整備推進事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	名岐道路は、国道22号において高架構造により一宮市と岐阜市を結ぶ高規格道路であり、一宮市をはじめ3市2町で構成された名岐道路整備促進期成同盟会において、国、県に対して早期整備に向けた要望活動を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
629 千円	629 千円	0 千円		629 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人		対象1人あたり	1.68 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.49

部課室	建設部 道路課	事業名	スマートインターチェンジ整備事業	事業区分	投資的事業					
事業概要	名神高速道路へのアクセス性向上による地域経済の活性化や一宮インターチェンジ周辺の渋滞対策等のため、スマートインターチェンジの整備を岩倉市、中日本高速道路㈱と進める。 2026年度は、スマートインターチェンジの早期開通を目指し、道路等詳細設計をはじめ必要な調査・測量・設計を実地するとともに、一部事業用地を取得する。									
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13				
担当課室要求額		財政担当査定額			市長査定額					
①		②		増減 (②-①)		③		増減 (③-②)		
285,243 千円		285,243 千円		0 千円		285,243 千円		0 千円		
K P I	受益者など (見込)	一宮市2025.10.1現在人口 : 375,005人			対象1人あたり		760 円			
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。									